

競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は、2020年度日本陸上競技連盟規則および本大会要項に従って行う。
- 2 本大会は、札幌市中体連陸上競技専門委員会が策定する「感染拡大防止チェックリスト」に沿って運営する。
(必ず内容を確認し、遵守すること)

3 選手の招集について

- (1) 選手招集場所は、全種目において現地（スタート地点・各競技場所）集合とし、現地での点呼をもって招集完了とする。
- (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は、全てその競技の開始時刻を基準とし、下記の通りとするが、出場人数によって変更もあるので、タイムテーブルを確認すること。競技者係の指示で整列し、チェックを受ける。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻	種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
ト ラ ッ ク 競 技	15分前	10分前	走高跳・走幅跳・砲丸投	30分前	15分前
			棒 高 跳	45分前	30分前

(3) 招集方法

- ・競技者は、出場種目の招集開始時刻に、現地（スタート地点・各競技場所）でアスリートビブス（ナンバーカード）及び腰ナンバー標識を競技役員に示し、組、レーンのチェックを受ける。準決勝・決勝の場合は、事前に組・レーンなどを確認しておくこと。（記録速報掲示板の番組編成に掲示する）
- ・個人種目とリレー競技の招集時間が重なった競技者については、招集は本人のみで、代理人による招集は認めない。ただし、事前にその旨を競技者係及びフィールド審判員に申し出て、競技に参加すること。
- ・招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなす。
- ・四種競技についても同様とする。現地（スタート地点・各競技場所）集合とし、現地での点呼をもって招集完了とする。

4 トラック競技について

- (1) 同じ種目でも、組によって招集時刻が異なるので注意する。
- (2) トラック競技の出場者は、各チームで用意した腰ナンバー標識をユニフォームの右腰やや後ろにつける。また、腰ナンバー標識を忘れた場合など、やむを得ず競技者係で借りたものはフィニッシュ後、借りた本人が競技者係にすみやかに返却すること。
- (3) 事故防止のため、短距離ではフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走る。
- (4) リレーのオーダーは、1組目招集完了時刻の60分前までに競技者係に提出するものとする。時間までに提出されない場合は、棄権とみなす。リレーでは、バトンパスが終わったら、自分のレーンのマークをはずすこと。なお、マークは主催者側で準備したものを使用すること。
- (5) トラック競技の準決勝・決勝の走路順は本部抽選とし、記録速報掲示板の番組編成欄に掲示する。結果については掲示しない。
- (6) トラック競技のプラスアルファが、規定数より多いときは、0.001秒以上の差が認められれば、着差ありとして決定する。この結果、まだ同成績がいる場合には、本部での抽選によって決定する。
- (7) 男女200m、男子400m、男女800m、女子110mHにおいては、A決勝・B決勝の2つの決勝を行う。（予選の結果によりA決勝からタイムの速い順に番編を行う。A決勝は1～8位を、B決勝は9～16位を決定する。）
- (8) 男女800m予選、男子3000m決勝は安全面を考慮して階段スタートで行う。
- (9) 男女1500m決勝は16名で行う。
- (10) 男子3000m決勝は、タイムレースで行う。（人数によってはグループスタートを行う）
- (11) 1500mで周回遅れになった競技者には、競技を中止させることもある。3000mでは、先頭の走者が2600mを通過する前に周回遅れになった選手には、競技を中止させることもある。ただしプラスアルファに支障を来す場合は、この限りではない。
- (12) 本大会のスタートについては、第162条5を適用せず、不適切行為を注意にとどめる。但し、不適切行為が繰り返し行われる等、悪質なものは、第125条5および第145条2を適用し、失格とする。

5 フィールド競技について

- (1) 走高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。(当日の天候などによる変更あり)

男子	走高跳	(練習 1 m25)	1 m30	(以後 5 cm 上げ)	1 m55	以後 3 cm 上げとする
男子	四種 走高跳	(練習 1 m15)	1 m20	(以後 5 cm 上げ)	1 m45	以後 3 cm 上げとする
女子	走高跳	(練習 1 m10)	1 m15	(以後 5 cm 上げ)	1 m35	以後 3 cm 上げとする
女子	四種 走高跳	(練習 1 m05)	1 m10	(以後 5 cm 上げ)	1 m30	以後 3 cm 上げとする
- (2) 棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。(当日の天候などによる変更あり)
(練習 2 m00) 2 m00 以後10cm上げとする。
- (3) 走幅跳の予選通過ライン、砲丸投の計測ラインは、下記の通りとする。(当日の天候などによる変更あり)

男子	走幅跳	4 m80	砲丸投	7 m00
女子	走幅跳	4 m30	砲丸投	7 m00

※予選通過者が、12名に満たない場合は、規則第180条15に従って追加補充する。
- (4) 四種競技について、トラック競技はプログラム記載順で行い、フィールド競技の試技は3回とし、指定された順番で行う。ただし、最終種目における組み合わせは、それまでの得点の順に番組を編成する。

6 その他

- (1) 学校対抗とする(得点は1位 8点、2位 7点……8位 1点)。男女別3位まで、総合6位まで賞状を授与する。(後日発表)
- (2) 8位までの入賞者には賞状を授与し、3位までの入賞者にはメダルを授与する。(表彰は実施せず、本部にて引率者が賞状等を受け取る。)
- (3) ウォーミングアップは基本的に個別で行うこと。(主競技場は2日とも7:30~9:00まで開放する。)
- (4) 選手以外の者は、絶対、競技場内に立ち入らないこと。(特に本部前は通行禁止)
- (5) リレーで使用したマークは、各校で責任をもって処分する。自分のゴミは持ち帰る。(ペットボトル等も必ず持ち帰ること。ゴミ箱は使用できない。)
- (6) 競技者としてまた中学生として恥ずかしくない行動をとること。
- (7) 引率教員は競技役員を担うこと。役員ができない場合は選手の参加を認めない場合もある。
- (8) 競技規則第145条2及び第162条5の適用により警告を2回受けた競技者は失格とし、この競技会における以後の全ての種目に出場できなくなる。
- (9) 盗撮行為防止のため、競技者の迷惑のかかる恐れのあるすべての方向からの撮影・行動を禁止する。
- (10) 生徒保護の観点から試合内容をYouTubeを含むSNSへの掲載を禁止する。